

第52回名古屋地区少年柔道大会実施要項

- 1 主 催 名古屋地区柔道少年団
- 2 後援予定 名古屋柔道協会 愛知県柔道整復師会 中日新聞社
東洋マシナルーツ・ディストリビューション (株)小島鉄工所 (株)杉山鉄工所
オンソー有限会社 (株)大野構造設計 (株)ユタカ建工
- 3 日 時 令和7年6月22日(日) 受付：午前9時 開会式：午前10時
- 4 会 場 **メディアス体育館ちた** 〒478-0047 知多市緑町5番地
- 5 参加資格 ① 名古屋地区柔道少年団加盟団体、若しくは主催者が認めた団体。
② 出場者は、健康体で保護者の同意を得ている小学生。
③ 出場者は、試合を行い得る技能を有する者と申込責任者が認めた者。
- 6 試合種別と方法
(1) 団体の部
① チームは、道場・クラブ・教室等の単位（他所属との混成は認めない。）とし、各団体1チームとする。
② 選手構成は、先鋒・次鋒は3・4年生とし、中堅・副将・大将は5年生以上とする。
③ **欠員がある場合は後ろ詰めとする。 ※各学年区分内でのみ詰める**
④ 試合方法は、紅白点取り試合とし、トーナメント方式で実施する。
⑤ 試合時間は、正味2分間とする。
⑥ 判定基準は、「一本」「技有」「有効」「僅差（指導差2以上）」とする。
⑦ チーム間の勝敗は、勝者数の多い方を勝ちとし、勝者数が同じ場合は内容により決する。
内容も同じだった場合は代表者戦を行う。
代表者戦は引き分けの中から抽選し、**試合（2分間）により勝敗を決する。**
※抽選は本部で行う ※勝敗が決しない場合は旗判定で決する。
(2) 個人の部
① 試合種別は、学年別、男女別とする。
② 試合方法は、各部ともトーナメント方式とする。
③ 試合時間は、1年生～4年生は正味2分間、5年生・6年生は正味3分間とする。
④ 判定基準は、「一本」「技有」「有効」「僅差（指導差2以上）」とする。
技の評価の差がない場合は「旗判定」により勝敗を決する。
決勝戦はゴールデンスコア方式（2分間 **※5・6年生は3分間**）により勝敗を決する
ゴールデンスコアでも技の評価の差がない場合は「旗判定」により勝敗を決する。
- 7 試合規則 国際柔道連盟試合審判規定および国内における「少年大会特別規定」による。
- 8 表 彰 団体・個人の部とも3位まで、賞状・賞品を授与する。

9 申し込み

(1) 申込方法 申込責任者は、参加申込書に必要事項を記入の上

令和7年5月11日(日)必着で、メールで事務局へ申込提出

・申込期限は厳守して下さい。

・参加申込書及び加盟団体調査書は名古屋地区柔道少年団ホームページにあります。

【送付先】 〒494-0003 一宮市三条宮西6-1 ひまわり1-202

メールアドレス bisai.takei@gmail.com

FAX 0586-86-4859

携帯電話 080-3289-1516

(注) 大会当日の申し込みおよび変更は原則として受け付けません。
ただし、団体の部の選手変更は試合開始前まで受け付けします。

(2) 審判員 申込団体より、審判員2名を選出して下さい。

(運営役員を兼務していただきますのであらかじめご了承下さい。)

(3) 参加費 1人 1,000円 (大会当日引率責任者が受付でまとめて納入して下さい。)

10 ゼッケン

柔道衣に次の要領でゼッケンを縫い付けること。付けていない選手は原則として出場できない。

図1 ゼッケンの縫い付け方

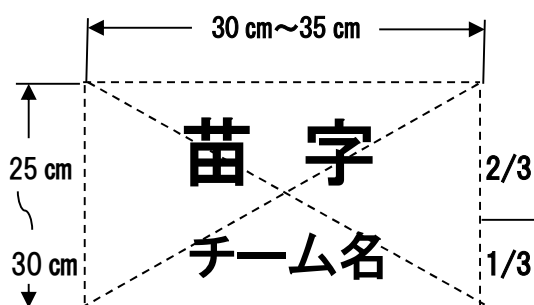
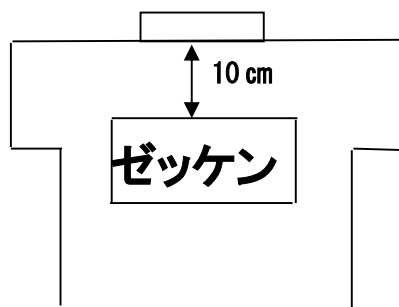


図2 縫い付け位置



- ① 布地は白色の晒歩太綾、サイズは横30cm～35cm・縦25cm～30cm。
- ② 後襟から10cm下部に点線部分を縫い付ける。(対角線も縫い付けること。)
- ③ 上2/3に苗字(姓)を、下1/3にチーム名を、太ゴシック(楷書)で記載し、男子は黒文字、女子は赤文字とする。
- ④ チーム内に同じ苗字(姓)の選手がいる場合は、名前の1字を記載する。

11 その他

- (1) 選手の競技中における疾病ならびに傷害について、応急処置は行うが、その後の責任は負わない。申込責任者は、必ずスポーツ安全保険等に加入しておくこと。
- (2) 大会に備えて十分に体調を整えておくこと。
- (3) 当日体調が悪くなった場合は無理して出場しないこと。

以上